

「ひめの」施工例



野球場 (写真手前が「ノシバ」、奥が「ひめの」)



公園



校庭



軌道敷緑化



わい性少穂型選抜ノシバ

ひめの

Zoysia japonica cv. Himeno 種苗法品種登録第9209号

●お問い合わせ・お申込みは _____ 生産・販売元



日本の芝を変える問題解決型企業
ゾイシアンジャパン株式会社
本社 / 〒720-1622 広島県神石郡神石高原町近田275
TEL.0847-82-2126 FAX.0847-82-2021

○「ひめの」の詳しい技術情報は、ホームページに掲載しています。

ゾイシアンジャパン

<http://www.zoysian.co.jp>

株式会社 イズカ

〒693-0043 島根県出雲市長浜町337-13
TEL (0853) 28-2688(代) FAX (0853) 28-2802
E-mail: info@izuka.co.jp http://www.izuka.co.jp



日本の芝を変える問題解決型企業
ゾイシアンジャパン株式会社
<http://www.zoysian.co.jp>

わい性少穂型選抜ノシバ

ひめの

「ひめの」とは

手をかければよくなる芝は数多く存在します。しかし、放置しても高い品質を保ち続けることは困難です。省管理でも高い品質を安定して保つ強い芝、それが「ひめの」です。「ひめの」はゾシアンジャパンの国内屈指のノシバ遺伝資源コレクションの中から約10年間の長期評価試験を経て、選抜された品種です。芝の管理を熟知したプロフェッショナルはもとより、芝は初めてのビギナーまで、“本物”にこだわる方々の幅広い支持を得ています。

「ひめの」の特長

1 上方向への生育が遅い

「ひめの」の葉の長さはノシバの中では群を抜いて短く、短さではコウライシバと見間違えるほどです。ほとんどのノシバは放置すれば草丈が20cm～30cmになるものであり、本来が粗く大型の芝です。しかし「ひめの」は上方向への生育が遅く、放置しても10cm程度の草丈をキープするため、なびいて倒れるようなことはありません。このため、在来のノシバやコウライシバと比べ、刈込回数を大幅に削減できます。



4 色が濃い

葉色がブルー系の日本芝はほとんど存在せず、淡黄色が基調となっていますが、「ひめの」はその数少ないブルー系で濃緑色です。肥料をやらずに放置した場合、生育は抑えられますが、色落ちが少ないという特性もあります。このため、施肥回数を削減でき、他の淡黄色系の日本芝のように、少肥の際に起こる色むらも目立ちません。



写真手前の芝が「ひめの」

2 踏圧に強い

「ひめの」は葉が短く小ぶりにもかかわらず、地下部や地表のほふく茎は太く、不似合いなほど丈夫です。また、地下の根層(ライゾーム)が厚いためほふく茎も多く、非常に緻密、即ち密生度が高いという特長があるので、他の日本芝との比較では、擦切れ踏圧に対する抵抗性の強さが顕著です。



5 穂が少ない

穂がほとんど出ないということは「ひめの」の大きな特性で、景観を重視する芝生にとっては非常に大切であり、有用なことです。この時期には、見た目での芝生の優劣がはっきりと出ます。出穂は芝生にとって大きなエネルギーの消耗であり、生育上は一種のブランクです。従って、他品種が一斉に出穂するこの時期でも「ひめの」の生育は継続されており、花粉の散布もありません。



写真手前が「ひめの」、奥が「マイヤー」

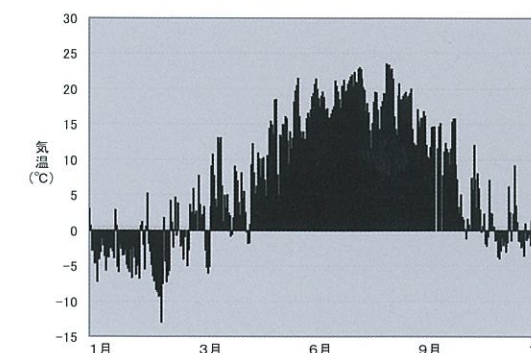
3 密度が高い

単位面積当りの葉数の多さをもって緻密と言いますが、「ひめの」の葉数は群を抜いて多く、標準型ノシバの3倍以上の高密度です。葉数の多いコウライシバ等は本来葉幅が細く、野芝よりはるかに葉密度の高いものですが、これにはサッチング等の維持管理上の問題が残ります。ノシバの強さを持ち、コウライのような緻密さを持つ、これが「ひめの」です。



6 寒さに強い

「ひめの」が生まれた比較試験圃場は標高が650mあり、冬期の気温は-15℃前後まで下がります。従って、耐寒性の試験圃場としては十分な条件を満たしており、「ひめの」はここで15年以上越冬しています。一般的に南西諸島方面の芝種は生育が早い特長がある一方、耐寒性がなく、交配種では春の芽立ちが問題となる場合がよくあります。しかし「ひめの」は例外的に耐寒性が強く、毎春の萌芽も安定しています。



「ひめの」はNTEP(全米芝草評価プログラム)において、緑の濃さと、穂の少なさで全米ナンバーワンに選ばれました。